

○注意事項

- ・ 氏と面会する前に、 から、事務的なことは 氏とはしないで欲しいと言われ、また、間もなく が同席したこともあり、十分に協議の時間がとれなかった。未確認の部分については、 氏と E-mail で連絡をとる必要がある。
- ・ 市民フォーラムや学校訪問については前述したが、協議時もスタッフが中心となって話をし、 氏からの発言は殆どなかった。また、しばらくすると、「自分のアトリエは美術館から車で4時間かかる標高2000mの所にあるので、もう帰らなければならぬ。」と言って、途中で帰ってしまった。
- ・ 氏は、制作活動に専念しており、それ以外のことは、スタッフに任せている様子。また、前述の学校訪問のことなどからすると、人前で話をするのが苦手なシャイな人柄のようにも見えるので、対応には注意を要する。幸いスタッフがしっかりしており、来福にも同行するので、スタッフ、特に 氏とよく連絡をとる必要がある。

記者発表の場所

- 4月1日 台北当代美術館
15時30分 ここは、日本統治時代の小学校を改築しているものであり、それぞれの部屋が小さくて、記者発表の場所としては、不適切。
- 同日 誠品書店
17時30分 台北市役所に近く、文化イベントの会場として、よく使われる場所で、視聴覚ホールは、設備も整っており、値段も10万円程度と手頃であるが、近くにレセプションをやれるスペースがない。また、展示ホールは、広さは十分であるが、値段が30万円を超え、予算オーバー。
- 4月3日 中山堂
11時00分 台北駅に近い、昭和天皇即位を記念して建てられた歴史的な建物。風格もあり広さも十分だが、会場の設営、機材の持ち込み等、すべて自分でしなければならない。会場費は10万円程度であるが、設営を業者に委託する必要がある。
- 同日 台北市美術館
12時00分 台北駅の北2kmの位置にある。視聴覚ホールで記者発表を行い、室外のスペースでレセプションが可能。中にレストランもあり、ケータリングもできる。プロジェクター、PC等の機材も利用可能。場所の賃借料は、3万円程度。元々賃貸出来る施設。一番良かったため、8月1日、2日を仮予約済み。